

人のために豊かさや便利さを提供する土木を、生活のなかに浸透させていくこと。
「DOBOKU×カルチャー」
 では、私たちと土木の距離を縮めてくれる、そんなコンテンツを紹介します。

第一回

『ダムカード』



この世には鉄道マニアやカーマニアだけでなく、「ダムマニア」という人たちもいて、それも年々増加しているらしい。彼らは鉄道や徒歩では行けない山奥まで車を走らせ、そこで巨大なダムという構築物を眺めて、えも言われぬ興奮と満足を感じているらしい。そんなダムマニアたちを、ますますダムに呼びよせる誘因となっているのが「ダムカード」だ。

ダムカードは、ダムを現地まで見学に行つて管理事務所に行くと一人一枚無料でもらうことができる。全国にダムは二七〇〇基ほどあるとされているが、そのなかでもダムカードを作成し配布し始めたのは国土交通省と水資源機構が管理するダムにおいてだった。

ダムカードの誕生は二〇〇七年。当時国土交通省は、ダムというものが世のため人のために大いに役に立っていることをより多くの人に知ってもらうためのPR方法を検討しており、ホームページなどでダム探訪の情報を発信していた先端的ダムマニアたちからも意見を聞いた。

その一人である宮島咲さんは、ダムマニア歴十五年以上。山道のドライブが好きで山奥に行くときよくダムに出会い、そのうちそれぞれの形が違うことに興味を持ち、写真を撮り、探索を重ねるようになった。その成果を「ダムマニア」というホームページで報告していた。そのような複数のダムマニアが国土交通省の広報担当者に対し「ダムカードを作つては」と提案したのだ。



ダムカード提案者の1人である宮島さん。ダム写真集、全国のダムカードを総覧できる「ダムカード大全」の著作、ダムマンガのコラム、トークライブへの出演など、ダムマニアとして多岐にわたって活動を行っている。

結果、制作期間三カ月という異例とも思えるスピードで、ダムカードは配布されるようになった。

ダムカードは、いわゆるトレーディングカードのような体裁で表面には各ダムの写真、裏面にはダムのデータや情報が記してある。

「ダムカードの表右上に書いてあるFNPなどの文字はどういう意味かわかりますか？ Fは洪水調節、Pは発電など、そのダムの目的を記してあります。右下のA、Gなどの文字はダムの型式です。Aはアーチ式、Gは重力式と、マニアは一目で分かりますが、初めて見る人も、この文字はどんな意味なんだろうと興味を持つはず。カードの裏面には貯水量や着工年、竣工年、周辺の地形や自然状況、建設技術などのちよつとマニアックな情報まで載せています」

■ダムカード表面



ダムの名称

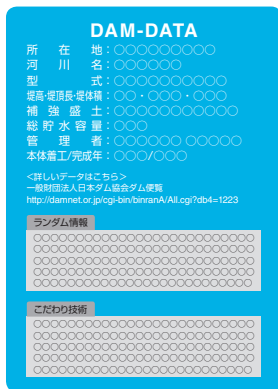
ダムの目的

- F：洪水調節
- N：河川の正常な流量の維持
- W：上水道
- I：工業用水
- A：かんがい
- P：発電

ダムの型式

- G：重力式コンクリートダム
- HG：中空重力式コンクリートダム
- A：アーチ式コンクリートダム
- GA：重力式アーチダム
- E：アースフィルダム
- R：ロックフィルダム

■ダムカード裏面



DAM-DATA

所在地：○○○○○○○○○○
 河川名：○○○○○○○○
 型式：○○○○○○○○○○
 延長/堰長/堤岸線：○○○○○○○○○○
 補強/盛土：○○○○○○○○○○
 総貯水容量：○○○
 管理者：○○○○○○○○○○
 本体着工/完成年：○○○/○○○

＜詳しいデータはこちら＞
 一般財団法人日本ダム協会ダム情報
<http://damnet.or.jp/cgi-bin/binsran/A/All.cgi?db4=1223>

ランダム情報

ランダム情報欄には、ランダムに生成された文字列が表示されます。

こだわり技術

こだわり技術欄には、ダムに関する技術的な情報が記載されています。

これらダムカードの情報を得れば、ダムを見るだけでなく、その働きについて深く考察することもできるわけだ。「このダムはなぜここに存在しているのか、どのように水を防いできたのか」ということまでも知って、このダムが今現役で働いているということを確認してほしいんです。そうすることでダムの味わいも深まっていきます」と、宮島さんは、熱く語る。

ダムカードは当初は国土交通省、水資源機構のダムなどのみ配布されていたが、その人気の高まりによって電力会社や都道府県のダムでも配布されるようになってきた。

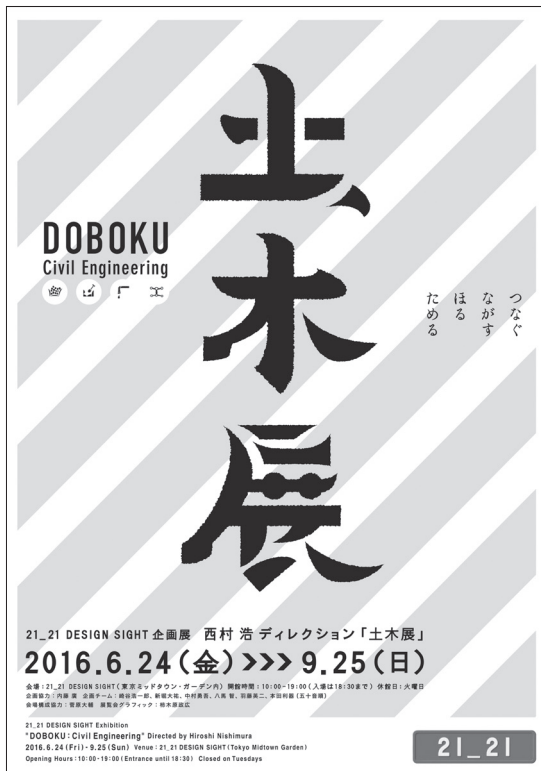
また、ダムで行われるイベント時の

みに配布されるもの、四つダムを回って集めたカードを見せるとさらにプレミアムポイントにもらえるものなどもある。

ダムマニアの増加とともに、近年はダムの「放流」もイベント化しており、その放流イベントの時にのみ配られるダムカードもある。レアカードも増え、マニアの収集欲をくすぐる。めずらしいものはネットオークションでかなり高値で取引されているとか。

現在ではダムカードは五四〇種以上存在しており、カード収集をきっかけにダム探訪の深みにはまっていく人も増えていきそうだ。

PICKUP! DOBOKU×カルチャー



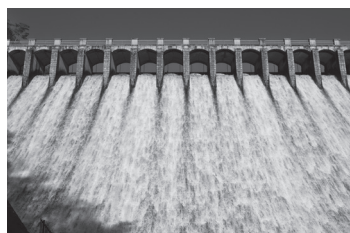
21_21 DESIGN SIGHT 企画展「土木展」メインビジュアル

21_21 DESIGN SIGHTで開催される初の土木系企画展！

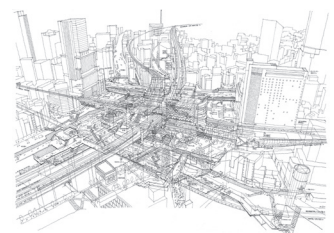
現在の日常生活の土台は、古来の伝統技術、近代における研究と技術の発展など、多くの努力と工夫が積み重なって形成されています。しかし、私たちの毎日の暮らしは土木とつながっているにもかかわらず、それを実感する機会は多くありません。「土木展」は、これらのことを改めて見つめ、再発見と実感を促すことで、より良い未来を考えるきっかけとなることを目指しています。本展では、土木のエキスパートたち

による展覧会企画チームと、参加しているデザイナーやアーティストがリサーチを行い、幅広い方々により深く土木を知っていただく作品を展示します。

企画展「土木展」
 21_21 DESIGN SIGHT
 住所：東京都港区赤坂9-7-6
 会場：東京ミッドタウン・ガーデン内
 03-3475-2121
www.2121designsight.jp



「千刈ダム」
 西山芳一



「渋谷駅解体」
 田中智之